平成二十二年度　国語

問題番号	配点	標準解答
1		
①	1点	はいけい
②	1点	とどこお（り）
③	1点	お（し）
④	1点	異常
⑤	1点	設（けて）
⑥	1点	残暑
	（計6点）	
2		
1	1点	〔品詞〕形容（詞）・〔活用形〕連体（形）
2	1点	おっしゃいました
3	1点	ア
4	2点	（例）自分の意見を大勢の人の前で発表する場合
5	2点	自分の体験など具体例を入れている
	（計7点）	
3		
1	2点	長い間風雪に耐えて建ちつづけている点
2	2点	志高く、命がけで衆生を救おうとする生き方
3	1点	弱
4	2点	安楽
5	3点	人は苦しみによって生きていることを実感するように、学ぶことの苦しみは喜びをもたらすということ
	（計10点）	
4		
1	2点	ウ
2	2点	少年をはげまそうという気持ち
3	2点	慎重
4	3点	自分の弱さを克服し、はじめて気合でマッカチンに勝つことができたから
5	3点	オ
	（計12点）	
5		
1	3点	井戸の底をのぞいた時には大臣の相があったのに、鏡で見た時にはなかったこと
2	1点	しずかに
3	2点	遠かるべし
4	3点	大臣になるには長い年月がかかるだろうということ
	（計9点）	
6	6点	【評価の観点】 (1) 内容 ○ 選んだ短歌のよいところについて、作者の心（気持ち）にふれながら、明確に述べられている。 (2) 表現 ○ 文脈に即して語句が適切に使われており、内容の述べ方や表現の仕方が工夫され、わかりやすい文章になっている。 (3) 表記 ○ 漢字や仮名づかいが正しく、句読点や符号などが適切に使われている。
合計	50点	